



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！

子どもかるた会

白石東青少年育成委員会主催の行事として、「子どもかるた会」を1月26日（土）に白石東会館で行いました。

今年はインフルエンザが大流行しているためか、申し込みが約30名という少ない人数でしたが、各レベルごとのチームに分かれて、午前中の練習会が始まりました。

試合前には、お互いに挨拶と一礼を交わし、『礼に始まり礼に終わる』という百人一首の良き伝統も学びながら練習を行いました。また、今回が百人一首初めてという子どもたちは別室で、低学年でも読める札50首と難しい字にはふりがなをつけた札50首を使って、楽しく練習を行い午後の試合に臨みました。

昼食は、恒例の育成委員手作りのお雑煮とお汁粉をお腹いっぱい食べて、午後からの試合を元気いっぱいがんばりました。午前中取れなかった札もわかるようになり、「はいっ！」という元気な声のもと白熱した試合が繰り広げられました。

試合後の表彰式では、お互いの健闘をたたえ合い、みんなのいい笑顔を見ることができて有意義な行事である、とあらためて思いました。

ご来賓として出席していただいた町内会長の皆様はじめ、読み手として協力していただいた方々、ボランティアの学生の方々のご協力に感謝申し上げます。【阿部洋魅】



つなげよう～ゆきあかり

今年で4回目の栄通18丁目での”ゆきあかり”が、2月2日（土）から6日（水）までの間、開催致しました。

厳寒の中での催物は関係者皆様の結束力が温かく柔らかな光となって輝いていました。

手を震わせながらの点火は地域の子供たちが担い、胆振東部地震の被害者への鎮魂の思いを込めての開催でした。

足を止め、車のスピードを緩めて楽しそうに眺める顔に映るその光が増え続きますように・・・皆様に頂いたご支援を糧に”つなげよう～ゆきあかり”を続けていきたいと思ひます。

【市橋敏夫】



スポーツアラカルト！

第28回白石東地区町内会卓球大会が、10月28日（日）に大谷地小学校体育館で開催されました。

9町内会より、小学生（低学年24名・高学年22名）、一般男子11名、一般女子20名を含め、計77名の参加でした。

小学校1年生から70代の方までの老若男女が各種目に熱戦を繰り広げました。

野球のバットを卓球のラケットに持ち替え、奮闘する選手たち。勝利の喜び、敗者の悔しがり、和気あいあいと楽しんでいました。

進行に際しては、体育・スポーツ振興会の役員や青少年育成委員会の役員、そして参加された少年野球チームの役員、保護者の皆さんに選手として・審判としてご協力賜りました。

地域あげての大会を支えていただいたことに感謝するとともに、さらなるご協力をお願いし報告いたします。

また、11月23日（金・祝）には、第46回白石区民卓球大会が白石区体育館で開催されました。この大会の総出場者数は、166名で白石東地区より小学生、一般男女の部に20名が参加致しました。白石東地区大会での余勢をかって参加した小学生、上位入賞はなりませんでしたが、よく健闘いたしました。

一般男子Bの部決勝では、白石東地区の方同士が戦い優勝・準優勝を獲得しました。

一般女子A・Bの部では、第3位に入賞し大いに健闘されました。

参加された皆さんに拍手を送りたいと思います。【長井和幸】



第27回白石東地区室内スポレク大会が、1月27日（日）に大谷地小学校体育館で開催されました。

種目は、ミニバレーに4チーム22人が参加、少年野球チームの保護者による男女混成での出場でした。

ハッスルしたプレー・大声での声援や笑い、すごく楽しそうでした。

また、テニポンには10名が参加しペアを交代しながら試合をおこないました。

大会の様様を北海道新聞さっぽろ10区の取材があり緊張の中のプレーでした。

記事の報道掲載については未定とのことです。

平成30年度のスポーツ行事も皆様のご協力、そして、多くの参加者のもと終了することが出来ましたことに感謝いたします。ありがとうございました。【長井和幸】



2月21日（木）白石東地区センター事業で、ゲートボールを楽しむ会が開催されました。

参加者は、5チーム25人でした。

白石東地区・東白石地区に居住している仲間チームを組んでの参加でした。

平均年齢79歳で最高齢は96歳の女性でした。

背筋もまっすぐで、若手が第1ゲートを通り過ぎず何回となく挑戦している傍から、第1打で見事通過していました。

お見事！！素晴らしいの一言です。

また、ゲーム内容も白熱し、成績も同率になり得失点差で順位が決定されました。

成績順位は二の次、皆さん同じ参加賞、でも楽しかったとの言葉をいただき次年度の開催希望も寄せられました。【長井和幸】



白石区体育館で第28回白石区民室内スポレク大会が2月24日（日）に開催されました。

白石東地区よりテニポンに4チームが出場しました。

今年度は、他地区のレベルが上がったのか、一歩及ばず準決勝で敗退、3位決定戦でも2対1で敗退、敗者復活戦でも3位入賞一歩手前での敗退でした。

出場された選手の皆さんの頑張りに拍手を送ります。

この大会で、白石東地区体育スポーツ振興会の事業はすべて終了いたしました。

振興会役員の皆さん、各種団体の皆さん、出場された皆さんに感謝申し上げます。

来年度も、各種大会を予定しておりますので、大いに参加され、また多くのご協力をお願いし報告とさせていただきます。【長井和幸】





共に考える・・・災害

「雪と地震」・・・下白石町内会 会長 杉浦圭介

冬の国体のスキー場整備に駆り出された高校時代、作業終了の合図の笛に「クラス」仲間が「やれやれ」と下山準備にかかり、点呼の上滑り始めた時、今転圧した斜面に「こぶし大」の雪の固まりが転がりだし、その内スキーのテールが不自然に流れた。集合場所に来ると何人かの仲間が「途中何かおかしくなかったか？」問い合わせてきた。

何人かが「転びそうになったけど何だった」と。自分だけでなかったのだと、スキーに自信のなかった自分が「ほっと」したのを鮮明に記憶している。学校に戻ると「地震」だったと知らされた。

さほど大きな地震でなくて良かった。もしも大きな地震だったら「雪崩」に巻き込まれる恐れがあったかもしれない。家で一人でいた母は、高さ60センチ程ある石炭ストーブが倒れないように手元にあった座布団で押さえていたとのこと。家の崩壊については頭になかったらしい。

冬の地震の恐ろしさを改めて教えられた事件だった。



「予期せぬ大きな災害に直面して」・・・東白石町内会 会長 藤川靖雄

9月4日（火）の深夜から5日（水）の早朝にかけて強風が吹き荒れた風台風、そして6日（木）の早朝に襲った今まで経験のないあの大地震、自然の恐ろしさを改めて実感したところです。

私たちの町内会は、昨年2月に社会福祉協議会主催の「災害時要配慮者避難支援事業研修会」に参加しその必要性を再認識し、役員の巡回エリアの設定や連絡網整備、防災意識を徹底することを決定し、スピード感を持って積極的に取り組んできました。

「町内会だより」にも毎回「まず自分の身は自分で守る」の標語を掲載し、意識の啓蒙を図ってきました。幸い、今回の二つの自然災害では、大きな被害はありませんでしたが、担当エリアを巡回や独居者・高齢者宅への声掛けなどの実践を行ったところです。



大谷地第一町内会 会長 板垣俊夫

9月6日（木）の地震の日は戸建て住宅には問題はありませんでしたが、マンションの居住者の方々はブラックアウトで通電がされずマンションの水道が機能停止となり、給水のため近くの公園に水を汲みに来ていた方々がいました。これからは、マンション及び施設の入居者に対しても災害における対策を考慮していくのが検討課題と考えています。

当町内会では、防災組織に町内会の役員を全て当てはめていて、大きいマンションは自分達の組織に加えて町内会の組織にも入ってもらうことで災害時に町内会全体を把握することにしています。

町内会の公園は柏と第一があり、両公園で防災訓練を実施していますが、災害時の動きはまだシミュレーションの段階です。先般、ゴミ捨てるの担当エリア分けを行いました。そのグループを活用することできめの細かい連絡が可能になると考えています。

また、災害時は実際に町内会の会員をどのように動かせるかが課題であり、今年夏頃までにシミュレーションを考えていますし、冬場に災害が起きた場合のことも検討中です。

「北海道胆振東部地震の防災対応について」・・・栄通17丁目町内会 会長 道塚勝美

当町内の全世帯数の比率は、戸建住宅16.3%、マンション（アパート）83.7%となっている。地震発生時は震度5で、その後、ブラックアウト（停電）となった。

午前6時頃から町内会役員が分担して町内を巡回し、「高齢独居者」及び「高齢者のみの世帯」の安否確認、建物の損壊・道路の状況などを確認したが、建物の損壊、道路の陥没もなく、ケガ人等もいなかった。

そんな中で、7階建のマンション（入居者19世帯）では、停電によるエレベーターの停止、断水に伴いトイレも使用不能となり、全室電気調理器のため調理ができなくなった。特に、飲料水等の確保に苦労していたので、町内会役員から近くの公園の「水飲み場」で給水が可能なことを情報提供した。また、道内被災地支援のため当町内会として義援金3万円を拠出した。

「続発した災害から、学ぶ教訓・」・・・南郷みそら町内会 会長 門馬忠志

9月5日（水）の台風21号に続き、翌6日（木）午前3時8分

北海道で観測史上初の震度7を観測しブラックアウトにより電気やガス、水道のインフラ、交通が麻痺するというパニック状態が数日に渡り起こってしまいました。北海道の人間は今回程の天災は初めての経験であり、北海道は天災が少ないと高を括っていたと思います。ほとんどの人が災害に備えていなかった為にスーパーやコンビニ、ガソリンスタンドに長蛇の列を作っていました。

いつ来るか分からない自然災害にビクビクしても仕方ありませんが準備する事は出来ます。

今後も地震、台風などの災害は度々起こるでしょう。その時の為に住民個々の対策は勿論、町内会でも意識付けを日々心掛けて防災に励んで行かなければならないと思います。

「平成30年9月6日」・・・栄自治会 会長 山本和夫

9月6日（木）午前3時8分～50分 初めての一瞬駄目かなと思うほどの大きな揺れで起こされる。1分位で揺れが収まり、家内と家が大丈夫な事を確認、懐中電灯で着替えをし、非常用長時間蝋燭を見つけ、台所の割れたセトモノを片付、家の各部屋の確認とランタン、携帯ラジオの用意をする。

同3時50分～5時 家の外壁を確認・懐中電灯を頼りに町内の点検に出る。途中数名の役員と合流、主だった戸建てと、アパートの外観をチェックしながら各家から出てきた人達や、家にいる人達にノックと声で被害を尋ねる。結果、食器が多少割れた程度で、怪我は無いとの事。ひと廻りし、とりあえず町内は大丈夫と役員と解散し家に戻った。

同午前11時30分～午後2時 白石区が断水するという情報が突然入る。何人かの友人に確認、そうらしいとの事、再度役員と二人でアパートは大声、戸建てはノックで断水の知らせをするが町内約半分廻ったところで、固定電話が通じ水道局に連絡したところそういう予定はないとの事、確認しここで中止とする。

総括 結果、当栄自治会はこの度の地震で被害はなかった。今回の停電の経験等は自主防災の自治会員に対する啓発に大きな助けになる。

この経験で、

- ①情報は公共の情報を確認
- ②発電機購入=各種機器の充電のみならず、町内の休止井戸の復活、等多々応用できる
- ③トランシーバー各役員への連絡用として
- ④電気の要らない固定電話（FAX機能等無い電話）及びドアホン（住民が買い替え時に）
- ⑤布団から起きて家族の安否、非常持出品とその時点でリュックに入れる備品等用意、家の状態を終え、外に出るまで30分以上かかる等、他多くの経験があった。

雪であそぼう！at大谷地小学校

今年度の白石東まちづくり協議会主催の「雪であそぼう！at大谷地小学校」が、1月10日（木）、快晴のもと、参加者・スタッフ・ボランティアを含め総勢650名を超える人で賑わいました。

今年も昨年に続き、大谷地小学校の5・6年生が自分たちで考えたコーナー（鬼ごっこ広場）を作り、小さい子どもたちとのふれあいを楽しんでいましたし、ボランティア不足のコーナーには積極的にお手伝いをかけて出してくれました。

また、ボランティアの中心は中学生で、東白石中学校・柏丘中学校の生徒約45名が大車輪の活躍で子どもたちを楽しませてくれました。

このイベントは、世代交流事業として行われていますので、幼・小・中の子ども世代と付添保護者の親世代、スタッフの高齢化が進み大半は祖父母世代と、三世代が交流する貴重な体験の場となりました。【鈴木福治】



子育てサロン「このゆびと～まれ」クリスマス会

白石東地区では毎月第3水曜日の午前10時～11時半に白石東会館のホールで子育てサロン「このゆびと～まれ！」を開催しています。特に毎年12月に開催するクリスマス会は大人気のイベントで、12月19日（水）には26組の親子さんが参加され、とても賑やかなクリスマス会になりました。前半は色んなおもちゃで遊んだり、サンタさんの折り紙を折ったりと自由に遊び、後半からいよいよクリスマス会。サンタさんが会場に着くまで「アンパンマン体操」やかわいい男の子と女の子が躍る「あわてんぼうのサンタクロース」のボードビル発表、読み聞かせとして今回は楽しい参加型紙芝居「おおきくおおきくおおきなあれ」を読みました。そして紙芝居が終わると同時に、どこからともなく鈴の音が聞こえてきて、サンタさんがトナカイさんと一緒に会場に到着～会場は一気に大盛り上がり。サンタさんから参加の親子さんに一組ずつプレゼントを渡してもらいながら記念写真を撮り、この写真は次回の子育てサロンで皆さんにお配りしました。子育てサロンはどなたでも自由に参加できますので、ぜひ遊びに来てくださいね。【甲斐みどり】



編集委員 市橋[まち協]・長井[体振]・石山[まち協]
取材スタッフ 道塚[まち協]・杉浦[まち協]・門馬[まち協]・藤川[まち協]・山本[まち協]
板垣[まち協]・阿部[青少年育成]・鈴木[青少年育成]・甲斐[民児協]

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

**スタッフ
募集**

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL:011-862-0813 FAX:011-862-8694 (休館:土・日・祝日)